

従業員向け 放課後等デイサービス 青い鳥 評価表

実施期間: 令和2年1月
 実施人数: 10名
 回答人数: 10名
 回答率: 100.0%

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	主な意見	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	5			・クールダウンできる空間が、もっとあるとよいと思われる。 ・クールダウンする時は、ダンボールやパーテーションを活用している。	・面積は法的に問題はなし。 ・状況に応じて、パーテーション等を活用するなど過ごしやすい空間となるように工夫する。
	2 職員の配置数は適切であるか	8	2			・スタッフ同士で声を掛け合いながら協力している。	・現時点では適切であると考えますが、状況に即した配置を検討する。
	3 事業所内の清掃はなされているか	10				・清掃箇所の漏れ落ちがないか確認するため清掃箇所のチェックシートを利用している。 ・玩具等の消毒もしっかり行っている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	1			・PDCAサイクルは、評価で終らず、改善を計画につなげ、循環できるように、定期的に共通理解できる研修の場があると良い。	・PDCAサイクルの結果について、職員が共有し研修できる時間を設定する。
	5 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	1			・事業所内での研修時間をもう少し確保することで、さらにスキルアップできるかと思う。	・事業所内での職員の研修時間を今年度よりも増やす。 ・外部講師による研修も引き続き実施する。 ・研修を受講した職員により伝達講習を実施し、職員間での共有を図っている。
適切な 支援の 提供	6 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10					
	7 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10					
	8 活動プログラムの立案をチームで行っているか	10				・各プログラムを担当する職員らが、工夫して活動プログラムの立案を行っている。	
	9 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10				・様々な案を出し、プログラムを計画をしている。 ・担当以外の職員からも助言をもらいながら活動を計画している。	・放課後等デイサービスのガイドラインに沿って、バランス良く活動内容を立案する。
	10 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10				・細やかな設定はできていると思う。 ・職員間の助け合いが大事。	・職員間での情報共有を実施し、業務においてフォローできる態勢を作る。
	11 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10					
	12 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	2			・打ち合わせ以外にも必要に応じて職員同士声をかけを確認している。	・打ち合わせに参加できない職員には、業務連絡用ノートの活用と職員間の伝達により確実に伝え、共有を図っている。
13 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	8	2			・その日の振り返り、気づいたこと等、口頭で伝えたりノートの活用に努めている。	・打ち合わせ時間に退勤している職員には、業務連絡用ノートの活用と職員間の伝達により確実に伝え、共有を図っている。	
14 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	2			・気づいたことなどはノートに書いているがそこにとどまらず、次の支援につながるよう工夫する(助言や改善など)。	・業務連絡用ノートを活用しながら、日々の業務における検証・改善策を共有する。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	主な意見	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	15 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10					
	16 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	10					
関係機関や保護者との連携	17 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10					
	18 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10				・定期的に学校に訪問し、情報を共有している。 ・送迎時、保護者もしくは学校職員に、その日の状態(体調、トラブル等)を詳しくお聞きしている。	
	19 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	10				・現在、医療的ケアを必要としている児童はいないが、発作時の対応等を保護者と連絡をとり、確認している。	
	20 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8				2	・次年度も専門家による研修会を実施する。
	21 地域の障害のない子どもと活動する機会があるか	10				・地域の子ども会行事や地域行事で参加して交流している。	
	22 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10					
保護者への説明責任等	23 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10					
	24 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10				・きめ細やかな対応をしていると思う。 ・電話や面談、家庭訪問で相談を受け、保護者を支援している。	
	25 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	6	3			・今年度は全体保護者会が開催できなかった。今後は保護者間の親睦や情報交換の場として、保護者会の開催を検討する。 ・個別相談は今後も全保護者を対象に実施する。
	26 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10				・保護者が苦情を言いにくい場合もあるので、苦情内容を入れる箱があってもよい。	・御意見箱を玄関内に設置し、苦情を伝えやすい環境を作る。
	27 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9		1			・今後も継続して会報「青い鳥だより」を発行する。それと並行してHPで情報発信していく。
	28 個人情報に十分注意しているか	10					
	29 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10					・必要な場合は家庭訪問を行い情報伝達をしている。
	30 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6				4	・地域の行事で交流している ・初年度は招待することがなかった ので次年度は検討する。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	主な意見	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	31 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10				・毎月、マニュアルに従って避難訓練を実施している。	
	32 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1			・毎月、マニュアルに従って避難訓練を実施している。	
	33 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10					
	34 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10					
	35 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10					
	36 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	5			・事例集を作成することにとどまらず研修し、日々の支援につなげたい。	・件数は少ないが、ヒヤリハット事例をストックしており、それを全職員が回覧し、共有できるように努める。